

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催

第6回 Documentary Linguistics Workshop (DocLing2013) 募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所は、2007年度からロンドン大学 SOAS の Hans Rausing Endangered Languages Project と連携し、Documentary Linguistics Workshop (DocLing) を開催しています。このたび、2013年2月に開催する第6回のワークショップの受講生を下記の要領で募集します。なお、このワークショップは文部科学省特別経費による「急速に失われつつある言語多様性に関する国際研究連携体制の構築(通称:言語ダイナミクス科学研究プロジェクト(略称:LingDy [リンディ]))」事業の一つとして開催されるものです。

記

1. 開催期間 平成25年2月11日(月)～2月16日(土)
2. プログラム 危機言語および少数言語の記録・保存(ドキュメンテーション、アーカイビング)に焦点をあてたワークショップです。ドキュメンテーションとはどのようなものか、アーカイビングとはどのようなものか、録音・ビデオ撮影の方法論とノウハウ、データ・マネジメント、データの多目的利用、アーカイビングのプロセス、言語ドキュメンテーションにおける写真の役割、フィールド調査にかかわる諸問題等の内容を扱う予定です。プログラムの詳細は、追って下記ウェブページに掲載します。

<http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling/2013.html>

講師: Peter Austin (SOAS, University of London)

David Nathan (SOAS, University of London)

Anthony Jukes (CRLD, La Trobe University)

澤田英夫 (AA 研) ほか

使用言語: ワークショップはすべて英語で行われます。通訳はありません。

3. 開催場所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
(東京都府中市朝日町 3-11-1)

4. 応募資格 フィールドでの言語調査や言語の記録・保存を行なっている、あるいはこれから行なおうとしている学生(原則として博士前期課程以上)および研究者
5. 選考方法 応募者多数の場合は、8.の応募フォームをもとに選考します。
6. 募集人員 10名前後
7. 参加費 受講料は無料ですが、別途教科書を購入していただく場合があります。また茶菓代として500円いただきます。
8. 応募方法 <http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling/2013.html> から応募フォームをダウンロードして記入の上、下記あてに Email で送付してください。

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
共同研究拠点係 DocLing2013 担当  
Email address: docling2013-appl@aa.tufs.ac.jp  
※件名を「DocLing2013 応募書類」としてください。

9. 応募締切 平成24年11月26日(月) 日本時間正午(必着)  
ご応募いただいた場合、一両日中にこちらから返信いたします。メール不着などの事例がありますので、三日以内にこちらからの返信がない場合は、お手数ですが再度ご連絡願います。
10. 選考決定 受講の可否は、平成24年12月中旬に本人あてに通知します。
11. その他 ① ワークショップ開催期間中の宿泊場所は、受講者各自で手配してください。  
(お問い合わせいただければ近隣のホテルをご紹介します。)  
② 旅費は支給されません。
12. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
言語ダイナミクス科学研究プロジェクト (LingDy) 事務局

Email: lingdy-office@aacore.net

Tel: 042-330-5543

\*過去のワークショップで扱った内容の詳細は、次の URL をご覧ください。

Web ページ:<http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling.html>